

日本共産党

ひめだ高宏ニ文

No. 75

10.4.14

国民とともに政治を前へ

4月4日(日)午後2時から日本共産党得意委員会
は市民会館大ホールで市田忠義書記局長を迎え演
説会を開きました。晴天のこの日の参加は1,000
人。演説会は、夏の市議神代選挙候補・松坂みち子
さんが紹介されたあと、吉田まさや参院選挙区候補
の訴え、つづいて市田書記局長が訴えました。

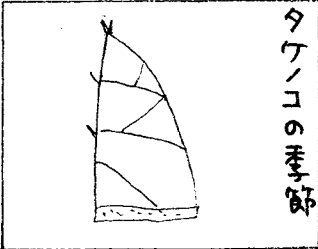
国民の思い共産党が受けとめます

市田書記局長は、午前中
NHKの日曜討論に出席し
たあとかけつけたと述べ、
報道各社の世論調査で鳩山
政権に対して不支持率が支
持率を上回るようになった
のは、後期高齢者医療制度
廃止や米軍普天間基地問題
などで、選挙での約束を次
々破ってきたからだと言
った。また政権退場となった自
民、公明両党も自らの過去

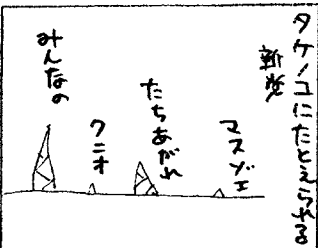
フワッの 人々



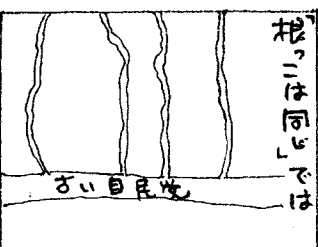
<618>



タケノコがまた



タケノコにまた



根っ子は同じでは



エグミがひびいて
食べたもんじゃない?
のにはないか?

ちび
X100

の悪政に対する反省はひと
かけらもないと強調。与謝
野元財務相の自民離党・新
党づくりについて、直前ま
で自民党の閣僚だったと述
べ、結局、表紙だけ替えて
中身を替えないもの。顔ぶ
れを見たら新ではなく旧党
だと批判。

民主党に裏切られても、
自民党政治に戻るのはいや
だという国民の思いや政治
を変えたい、暮らしの苦難
と平和の危機を取り除きた
いとの国民の願いを実現す
るため日本共産党は全力を
つくすと述べ、大企業中心
でない人間らしい働き方、
中小企業支援に軸足を置い
た経済改革、医療、介護、

子育てなどくらしを守る事
を実現のために頑張ると訴
えました。
NHKの番組で小林多喜

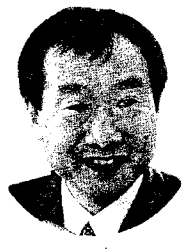
二が共産党員だったと紹介
された。結党以来同じ名前
で活動してきたことが党の
誇りだと語りました。

こんにちは

県会議員の
ふじい健太郎
です。
(40263)

今年の4月から国の制
度として公立高校授業料
を徴収しないこととなり
ました。県立高校全日制
では、授業料年11万8
000円とエアコン使用料
年36000円の負担がな
くなりす。私立高校へ
も家庭の所得が年収25
0万円未満程度は23万
6000円、350万円未
満程度は17万8200円
と水以上は公立並みの支
援金が国から学校へ交付
され、授業料の軽減に使
われます。

二が共産党員だったと紹介
された。結党以来同じ名前
で活動してきたことが党の
誇りだと語りました。



ふじい健太郎
県会議員



(後列) 左から森下木義、中村木義、津辺木義、志位委員長、松坂県議、ひめた
(前列) 南木木義、奥木木義、竹内県議長、高田県議候補、松岡木義候補

全国地方議員候補者会議

4月13日(火)日本共産党本部(東京・代々木)で全国道府県委員長、地方議員・候補者会議が開かれ、和歌山から上の字真のように私、ひめたを含む10人が参加。会議のあと志位委員長に入ってもらい記念撮映をいたしました。

会議は、志位委員長が情勢のとりえ方、参院選勝利をめざす活動と議員・候補者への呼びかけなどを報告。17人の議員・候補者・県委員長が報告を受け発言。それぞれ意見高いユニークな活動、視点での取り組み。党本部に行つたのは初めてでしたが、立派な水いれ建物で全国からの募金などで建てられたものです。帰り際のふつかで不破さんとすれちがいで、ちょっと感激しました。

こんにちは日本共産党



今、世界一高い日本の学費が学生を苦しめています。ある学生は、和歌山市から大阪の私立大学に通っていますが、学費が年に160万円もかか

るので、月に10万円も奨学金を借りています。将来、就職して返せるか心配だと話していましたが、大学卒業後に数百万円も借金をかかえて社会に出ないといけない現実が胸が痛みました。ほとんどの先進国では、学費は無料かとても安いのが当たり前で、お金がないと学べない日本は本当に異

常です。誰もがお金の心配なく学べるように、大学の学費を引き下げる事と、給付制のへ返さなくてもいい奨学金制度をつくるため力を尽くしたいと思ひます。



吉田まさや (参院選 選挙区)

市議会 生産緑地の適用要件が緩和された

市の10年度予算で、党市議団が要求してきたものがいくつか予算化されました。市街化区域の農地は、宅地並みの固定資産税となるため生産した利益が税金でなくなるというために、農産物の売上がさくくり税金になることから、農家のみなさんや農民連の運動と日本共産党市議団の提案をきっかけに市は06年度から生産緑地制度を導入。指定を受けた農地の固定資産税は約40分の1となり、読者の投稿。

天才的な努力家。自らの戯曲を公演する劇作家・井上ひさしさん

短歌

勝田 鉄也

未だ寒き風は吹けどもここかしこ
小鳥囀る春となりけり
雪かなと思ふ白さに驚きぬ
今一片の散りて静けき
障害者が障害者を見ると言う
心欠けたる人に勝ると
ぴったりと河の面が静まりて
ネオンサインがきらきらと映ゆ

漂流

作家・井上ひさしさんの計報にビックリ。9条の会呼びかけ人。選挙では共産党を応援してくれました。